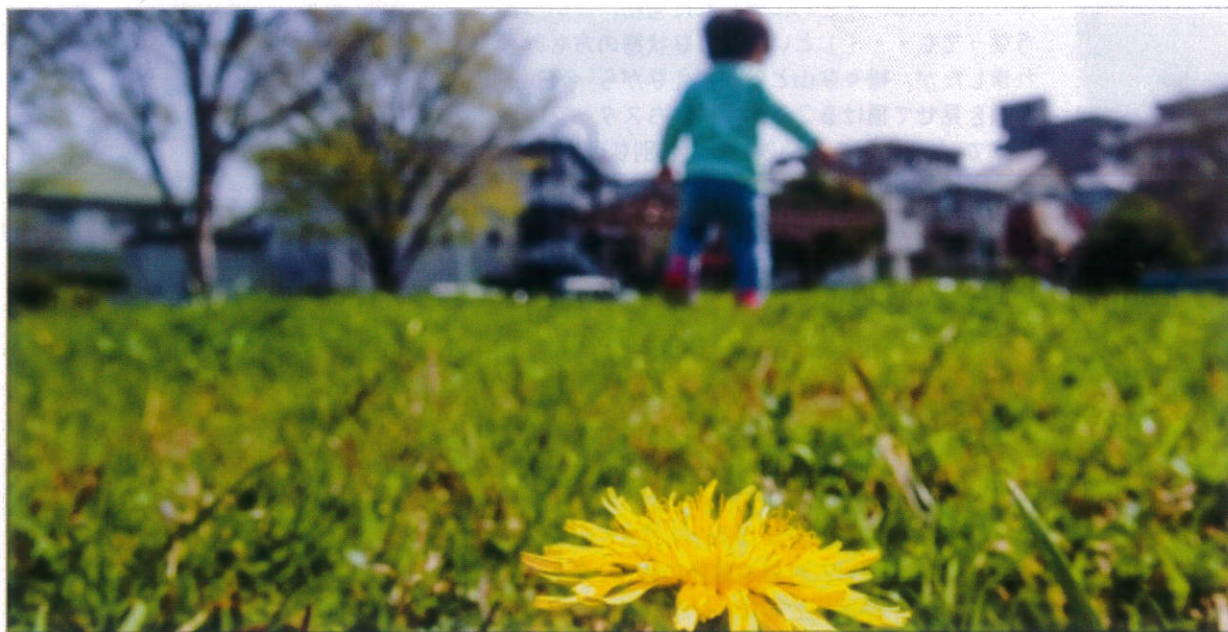


## みぎわ通信



### その人にとっての最善は何ですか

NPO法人みぎわを覚えて、ご協力とご支援下さり心より感謝申し上げます。

みぎわの働きは、ホームホスピスを中心に介護と昨年よりスタートした虐待や中絶から小さな子どもの命を守る特別養子縁組の命をつなぐ働きがあります。

ホームホスピスは、熟練した介護者の暖かな介護により、昨年までに12名の方々をお看取りさせていただきました。一人一人に寄り添いながら、その人とご家族にとって最善は何であろうかと常に考えて歩む一年でした。尊い人生に寄り添わせていただける幸いを実感しています。

また、命をつなぐ働きは、準備が整わないなかで、産婦人科より「重たい障がいがあり、尚且つ内疾患なあること命をつないでください。」と依頼がありました。この働きを進める中で教えられましたことは、障がいのある子ども、精神障害を持った両親の子ども、父親のわからない子ども、国籍の違う子どもなど、特別養子縁組において命をつないでいくことの大変さを実感しています。そして、改めてみぎわ付属の子どもホームの設立の必要性を強く思われます。

どうぞ、今後ともNPO法人みぎわの働きをご支援ください。

最後に3つのお願いをさせていただきます。

- 1つ目は、ホームホスピスが**  
より広く利用していただくためにご支援よろしくお願ひします。
- 2つ目は、一番小さな命をつないでいくために育ての親の登録をしてください。**また、望まない妊娠で悩んでおられる方にこの働きを知らせてください。
- 3つ目は、子どもホームの建設をはじめ、この働きの運営のためにご支援よろしくお願ひします。**

NPO法人みぎわ 理事長 松原宏樹

### 『命をつなぐ働き』

詳しくはホームページ検索

NPOみぎわ

検索



「ご希望の方にパンフレット送ります」

**『特別養子縁組』**とは、予期せぬ妊娠や何らかの事情によって育てられない赤ちゃんを、健やかに幸せに育つことを守るために、お子さんを切に待ち望んでいらっしゃるご夫婦に託す、赤ちゃん、産みの親、育ての親、みんなが幸せになれる制度です。





## ホームホスピスみぎわは 皆さまの尊いご支

援とお祈りの支えにより、開設から3年目の春を迎えることが出来ました。この一年間は お2人の方を天に送り、他の4人の住人の方はすでに1年以上穏やかにみぎわで暮らされています。その方々の中には、みぎわに来られた当初、「いつどうなっても・・・」というような状態の方もおりましたが、様々な山と谷を越えながら 今日笑顔を見せて頂けることは、私たちスタッフにとって とても大きな励みです。特別な環境ではなく、風や光を肌で感じ、小鳥の鳴き声や遠くから聞こえる子供たちの笑い声、洗濯機の音が 聞くともなく聞こえてきて、ごはん時にはお出しのいい匂いが漂ってくる。



みぎわ自慢のお庭でお花見

本当に何気ない日常を送ることが 人が生きていく上でこんなにも生きる力を引き出すのか。本当に驚くばかりです。

これからも スタッフ一同、其々の方のかけがえない「今日」を大切に、ともに暮らしていきたいと思っています。(ホームホスピスは「とも暮らしの家」です。(共に暮らし、<友>としてお互いを気遣い、スタッフや他の住人やその家族が最期の時まで<伴>走します。))

日常のその先にあるお看取り。その最中にあるご本人様とご家族を支えていくには、スタッフは心と身体と魂を酷使します。しかし、どれだけ大変であっても それを自らの使命だと感じ、この仕事に従事しています。どうか、これからもこの働きとスタッフが支えられていきますよう、ご支援とお祈りのほど どうぞよろしくお願い致します。



## コラム「出生前診断がもたらしたもの」その1

助産師・認定遺伝カウンセラー 増井薫



### 遺伝医学の進歩はめざましく、近年では個人の遺伝情報に

よって、ひとりひとりに個別で適切な医療が受けられる時代を迎えようとしています。同時にこの進歩は人が人として歩むことの意味を、慎重に考えなければならぬ側面をもたらしたと考えます。

その一つに、出生前診断があげられます。出生前診断には、広義と狭義の意味があり、広義のそれは、妊婦や胎児の順調な妊娠経過を確認し、安全で安心な分娩のために、適切な分娩方法や分娩施設の選択を行うことを目的とした診断です。狭義の意味は、胎児異常を積極的に診断して、疾患が見つければ選択的な中絶を行うものです。両者の境界は不明瞭であり、超音波画像診断の技術進歩により、通常の妊婦健診でも、予期せぬ胎児異常が発見される機会が増えています。現在の日本では、妊娠、分娩を取りまく環境がこのような状況下にあり、

多妊婦とその家族は、この医療に何をもめているのでしょうか？

多くの人は、赤ちゃんが無事に健康で生まれてきてほしいと願うでしょう。愛するわが子が元気に成長してほしい、痛い、苦しい、辛い思いをしてほしくない、かわいそうな思いをさせたくないと思うでしょう。その思いが、障がいや病気を持つことに重なり、できるだけそれを回避したいと願う気持ちは多くの人が共有され、我が子の健康を願う素朴な願いです。そうである以上、多くの人が出生前診断を結局は肯定しているという考え方があります。

健康な子どもが欲しいと願っている以上、出生前診断を受けたいという考え方が大多数のはずだ、なぜ反対する意見や慎重に執り行うべきだという考え方があるのか？そんなことはきれいごとだ。日本には、法的に決められた中絶できる期限があるというのに、きれいごとを言っている余裕はないなど、パターンリズミ的な考え方をしている見識者がいるのも事実です。

しかし、出生前診断を受ければ、「問題は解決される」と言えるのでしょうか。

(次号へ続く)



## みぎわ人気メニュー

食事スタッフ 相川隆子

### 第1位 『巻き寿司😊』



👉つくり方のヒント👈  
板海苔はのどにひっかかるので、薄焼卵で巻きます。ラップを利用して、マグロを芯にちらし寿司を巻いていきます。

巻き寿司は米の量が多くなって食べ過ぎになるのに……  
2時間以上かかって出来上がった巻寿司🍣  
テーブルに並んで『いただきます～(^o^)/』  
あっと言う間の15分後には『ごちそうさま』  
もしかしたらサラリーマンの昼ご飯より速いかも?!  
空っぽになったお皿を洗っていると、なんとなく笑ってしまうのは私だけ?(^\_^;)

## 入会・更新・寄付のお願い

2017年度に皆さま(お名前は別紙記載)から寄せられた会費や寄付金は、総額139万1282円になりました。暖かいご支援をいただいたこと、厚くお礼申し上げます。

NPOみぎわの運営は、活動や趣旨に賛同していただいた方の会費やご寄付によって支えられています。どうぞ、ご協力お願い致します。

■ 賛助会員 3000円(年会費)

【振込先】 特定非営利活動法人みぎわ

- ① 郵便振替口座 記号00910-8 記号311180
- ② ゆうちょ銀行(他の金融機関からの振込)  
店番:458 普通:0899351
- ③ 奈良信用金庫 学園前支店 普通:0374195